

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	26220402	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	マルチアーカイブ的的手法による在外日本関係史料の調査と研究資源化の研究	研究代表者 (所属・職) (平成29年3月現在)	保谷 徹（東京大学・史料編纂所・教授）

【平成29年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究の核であるデジタルアーカイブズの構築は、既存の海外史料マイクロフィルムのデジタル化などによって、着実な成果を上げている。この核を基礎に展開される9つの地域的プロジェクトも、海外の日本関係史料所蔵機関との共同研究などを通じて、新たな史料の調査・収集を進めており、プロジェクト間に多少のばらつきはあるものの、順調に研究を進めていると考えられる。総じて、本研究は研究期間内に当初の目標を達成することができると判断される。</p>		